

令和4年8月10日

## 令和4年度 特別の教育課程の実施状況等について

広島県		
学 校 名	管理機関名	設置者の別
神石インターナショナルスクール	広島県教育委員会	私立

## 1. 学校における特別の教育課程の編成の方針等に関する情報

学 校 名	特別の教育課程の編成の方針等の 公表 URL
神石インターナショナルスクール	<a href="https://jinis.jp/assessment/">https://jinis.jp/assessment/</a> <a href="https://jinis.jp/">https://jinis.jp/</a>

※必要に応じて行を追加すること。

## 2. 学校における自己評価・学校関係者評価の結果公表に関する情報

学 校 名	自己評価結果の公表 URL	学校関係者評価結果の公表 URL
神石インターナショナルスクール	<a href="https://jinis.jp/assessment/">https://jinis.jp/assessment/</a>	同左

※必要に応じて行を追加すること。

## 3. 特別の教育課程の実施状況に関する把握・検証結果

## (1) 特別の教育課程編成・実施計画に基づく教育の実施状況

- 計画通り実施できている
- 一部、計画通り実施できていない
- ほとんど計画通り実施できていない

## (2) 実施状況に関する特記事項

※(1)で「一部、計画通り実施できていない」又は「ほとんど計画通り実施できていない」を選択した場合は、必ず記載する。

## (3) 保護者及び地域住民その他の関係者に対する情報提供の状況

- 実施している
- 実施していない

## ＜特記事項＞

毎月のニュースレターや週に1回の SNS の発信で、本校のカリキュラムで行われる活動 の報告を保護者や周囲へと発信し、良さや課題を共有するきっかけとなっている。また、児童の学習成果等を電子ポートフォリオにして共有し、本校カリキュラムへの理解を深めている。

近隣住民や町内の NPO、施設等と連携をとり、学校でのカリキュラムを共に活動することにより神石高原町内の学校として理解及び支援をいただけている。

## 3. 実施の効果及び課題

### (1) 特別の教育課程の編成・実施により達成を目指している目標との関係

本特例は、日本初の小学校全寮制インターナショナルスクールとして、世界で活躍する小学校段階におけるグローバル人材育成のためのカリキュラムを実施している。英語 の学習だけでなく、英語による理科や社会など他の教科をも英語で提供するものである。3年目になり、IPC (International Primary Curriculum) と学習指導要領との統合を目指しつつ、ICA(International Curriculum Association)から IPC のレコグニション校(認定校)として認められ、より学校のカリキュラムが定まったといえる。今後の課題としてはこうした特例を実施しているバイリンガルの学校として、カリキュラムをもとに評価や学校環境(掲示、行事の進行のあり方)等を議論し、よりカリキュラムが正しく実施されるよう教員への研修を行い、より高度なカリキュラムの実現を目指していく。

### (2) 学校教育法等に示す学校教育の目標との関係

本特例を実施し、保護者からは寮で育まれた自立心、学校でのプレゼンテーションや 自主的な学びに対する意欲等が育まれていると評価されている。その一方で、従来の学力という観点に関しては、目に見える結果としての学力(標準学力テスト等)の結果を成果として示すことはできていなかった。そこで、CRT や漢字検定、算数検定、TOEFL Primary などの外部テストを通して児童の学習レベルを保護者に伝えるようにした。今後は本校の特色あるカリキュラムとのより良い形での統合が課題となる。

## 4. 課題の改善のための取組の方向性

3に示すような課題を踏まえて、以下のような方針で本特例の改善を図る

1. 自己評価及び学校関係者評価を継続的に行うための内容の確認と更新
2. 全寮制という枠組みを意識した教育活動及び学校環境整備の取り組みのさらなる充実。
3. 自己評価及び学校関係者評価による点検、評価結果を踏まえ、教員配置及び教員研修等の実施。
4. 児童の学力やカリキュラムの効果について確認するとともに、指導計画及び授業内容と学習指導要領に定める内容事項 についても確認、全体管理について定期的に確認していく。
5. 日本語と英語で学習する内容の追加や見直しなど、継続したカリキュラム開発と必要に応じた教育課程特例校の変更申請。